



## もう「はい」としか言えない

著者名：松尾スズキ  
出版者：文藝春秋

芥川賞 候補作品

浮気がバレたことで妻に「仕事場の解約と毎日のセックス」を言い渡された男が、突然フランスの怪しげな“世界を代表する5人の自由人のための賞”を受賞し、パリへ飛びさまが描かれる

## ディス・イズ・ザ・デイ

著者名：津村記久子  
出版者：朝日新聞出版

好きなものが、どんな時も自分たちを支えてくれる。22のチーム、22の人生。

## 破滅の王

著者名：上田早夕里  
出版者：双葉社

直木賞 候補作品

一九四三年、上海。かつては自治を認められた租界に、各国の領事館や銀行、さらには娼館やアヘン窟が立ち並び、「魔都」と呼ばれるほど繁栄を誇ったこの地も、太平洋戦争を境に日本軍に占領され、かつての輝きを失っていた。上海自然科学研究所で細菌学科の研究員として働く宮本は、日本総領事館から呼びだされ、総領事代理の菱科と、南京で大使館附武官補佐官を務める灰塚少佐から重要機密文書の精査を依頼される。その内容は驚くべきものであった。「キング」と暗号名で呼ばれる治療法皆無の細菌兵器の詳細であり、しかも論文は、途中で始まり途中で終わる不完全なものだった。宮本は治療薬の製造を任されるものの、それは取りも直さず、自らの手でその細菌兵器を完成させるということの意味していた。

## ファーストラヴ

著者名：島本理生  
出版者：文藝春秋

直木賞

夏の日の夕方、多摩川沿いを血まみれで歩いていた女子大生・聖山環菜が逮捕された。彼女は父親の勤務先である美術学校に立ち寄り、あらかじめ購入していた包丁で父親を刺殺した。環菜は就職活動の最中で、その面接の帰りに凶行に及んだのだった。環菜の美貌も相まって、この事件はマスコミで大きく取り上げられた。なぜ彼女は父親を殺さなければならなかったのか？臨床心理士の真壁由紀は、この事件を題材としたノンフィクションの執筆を依頼され、環菜やその周辺の人々と面会を重ねることになる。そこから浮かび上がってくる、環菜の過去とは？「家族」という名の迷宮を描く傑作長篇。

## 無限の玄／風下の朱

著者名：古谷田 奈月  
出版者：筑摩書房

芥川賞 候補作品

新三島由紀夫賞作家が描く女子と野球の熱く切ない物語。空っ風吹くなか白球を追う女子たちの連帯と闘争。三島由紀夫賞受賞作「無限の玄」を併録。

## まずは、あなたのコップを満たしましょう

著者名：玉置妙憂  
出版者：飛鳥新社

「現役看護師」の女性僧侶が見つけた生きる希望が湧く28のヒント。ガンの夫を自然死で看取った感動の「実体験」が胸に迫る。

## おしっこちょっぴりもれたろう

著者名：ヨシタケシンスケ  
出版者：PHP研究所

ぼく、おしっこちょっぴりもれたろう。おしっこをするまえかしたあとに、ちょっぴりもれちゃうから、いつもお母さんにおこられる。でも、いいじゃないか。ちょっぴりなんだから。

## 噛みあわない会話と、ある過去について

著者名：辻村深月  
出版者：講談社

どうして「いじめ」てしまうんだろう。あれは「いじめ」だったのだろうか……。いまもっとも注目を集める作家、辻村深月の最新短編集！

## 宇喜多の楽土

著者名：木下昌輝  
出版者：文藝春秋

直木賞 候補作品

戦国を駆け抜けた心やさしき俊才の生涯 父・直家の跡を継ぎ豊臣政権の覇者となった秀家。関が原で壊滅し、八丈島で長い生涯を閉じるまでを描く傑作長編。

## じっと手を見る

著者名：窪美澄  
出版者：幻冬舎

直木賞 候補作品

富士山を望む町で介護士として働く、かつて恋人同士だった日奈と海斗。老人の世話をし、ショッピングモールに出掛けることだけが息抜きの日奈の家に、東京に住む宮澤が庭の草刈りに通ってくるようになる。生まれ育った町以外に思いを馳せるようになる日奈。一方、海斗は、日奈への思いを断ち切れないうま、同僚の畑中との仲を深め、家族を支えるために町に縛りつけられていくが…。読むほどに打ちのめされる！忘れられない恋愛小説。

## 傍流の記者

著者名：本城雅人  
出版者：新潮社

直木賞 候補作品

優秀な記者ばかりがそろった黄金世代。しかし、社会部長になれるのはひとりだけだった。生き残っているのは得意分野が違う、四十歳をこえた五人の男。部下の転職や妻との関係、上司との軋轢に、本流との争い、苦悩の種に惑いながら出世レースが佳境を迎えたそのとき一。新聞社が倒れかねない大スキャンダルの火の粉が、ふりかかる。出世か、家族か。組織か、保身か。正義か、嘘か。自らの経験と更なる取材で、リアリティを極限までアップデート。火傷するほど熱い、記者たちの人生を賭けた闘いを見よ！

## 江ノ島西浦写真館

著者名：三上延  
出版者：光文社

百年続いた写真館の館主、祖母・西浦富士子の遺品を整理するために、桂木繭は江ノ島を訪れた。かつてプロの写真家を目指していたが、ある出来事がきっかけで、今はカメラを持つことができない繭。懐かしい写真館を訪れ、祖母と親しかった人々と出会うことで、封印していた過去が少しずつ露わになっていく。そして一。写真の謎解きと、人間の過ちと再生を描く物語。

## 体がみるみるよみがえる！5秒ひざ裏のばし完全ガイド

著者名：川村明  
出版者：主婦の友社

「ひざ裏のばし」は奇跡がおこる体操です！だれでも、どこでも、いくつからでもOK！

## 送り火

著者名：高橋弘希  
出版者：文藝春秋

芥川賞

少年たちの危うい力の均衡が破裂する力作中篇小説。注目の俊英、渾身作！





## 簡単！おいしい！ポリ袋で作っておきレシピ

著者名：川平 秀一  
出版者：宝島社

ポリ袋に食材や調味料を入れ、空気を抜いて温めるだけ！簡単に調理できる画期的なレシピを紹介します。ひとつの鍋で一度に何品も調理できる、油を使わずにヘルシーに作れる、真空状態に近い調理法なので浸透がよく調味料が通常の約半分です。OK！素材の旨みと栄養素が逃げない！などなど、いいことづくめ！ホテルの元総料理長が教える、簡単で絶品のレシピです。

## 最後の医者は雨上がりの空に君を願う 上

著者名：二宮敦人  
出版者：TOブックス

「流されるままに生きればよい」。小さな診療所を始めた医者・桐子は患者に余命を受け入れる道もあると言い切る。一方、かつての同僚・福原は大病院で閉職に追いやられてもなお、患者の「延命」を諦めない。別々の道を歩む二人が、ある難病の恋人同士を前に再会を果たす時、それぞれに壮絶な過去が呼び覚まされるのだった。残された日々を懸命に生きる患者と医者の葛藤と闘いを描き、大反響を呼んだ医療ドラマ。衝撃の新章へ！

## チュートリアル福田充徳の家呑みレシピ

著者名：福田充徳  
出版者：ワニブックス

「家で呑むのがサイコーです！」ハズレなしの定番おかず、5分でできるコンビニおつまみ、じっくり煮込み、ひとり鍋など。超速・簡単おつまみレシピ！ひとりで呑む人も、誰かに作ってあげる人も…。家で呑む日は、つまみを作ろう。

## 結界 越えてはならないことがある

著者名：永六輔  
出版者：マガジンハウス

「言わなきゃならないことがある。変えなきゃならないことがある。しかし言うてはならないことがある。やってはならないことがある。」今、日本は、おかしいぞ。

## 大恐慌時代

著者名：爆笑問題  
出版者：幻冬舎

まさに百年に一度。いろんなことがありすぎる激動の三年半を爆笑問題と振り返る。

## 人生は喜劇だ 知られざる作家の素顔

著者名：矢崎泰久  
出版者：飛鳥新社

親友だからかけた素顔の永六輔！私ほど永さんの死を見たくないと思っている友人はいないという自信がある。それでいて、永六輔の本格的な伝記を書いてみたい。だから困ってしまう。(本文より)

## 体が硬い人のための柔軟講座 続

著者名：中野ジェームズ修一  
出版者：NHK出版

20万部突破の“柔軟講座”、待望の第2弾！歩くとき疲れ、肩がコリコリ、背中バキバキ……。フィジカルトレーナーの中野ジェームズ修一氏が、柔らかくなるだけでなく、さまざまな不調の対策にも効果的なストレッチを部位別に紹介。今回は効果を高め、維持するために欠かせないシンプルな筋トレも登場！“疲れにくく、快適な体”が手に入る充実の1冊。とじ込み付録「思い立ったらいつでもできる！ストレッチカード」付き。切り取って使えるのでオリジナルメニューが簡単に作れます。

## 最後の医者は雨上がりの空に君を願う 下

著者名：二宮敦人  
出版者：TOブックス

少年時代に入退院を繰り返す、ただ生きるだけの日々を過ごしていた桐子。だが、一人の末期癌患者との出会いが彼を変えた。奇しくも、その女性こそ幼き福原の母だった。彼女の命を賭けた願いとは？なぜ、人は絶望を前にしても諦めないのか？再び、二人が「ある医者」との闘病に挑む時、涙の真実が明らかになる。流転する時を越え、受け継がれる命が希望の未来を生む一読者に生き方を問い直す、医療ドラマ第二弾。感動の完結編！

## 超バカの壁

著者名：養老孟司  
出版者：新潮社

「今の日本社会には、明らかに問題がある。どんな問題があるか。私はものの考え方、見方だと思っている。そこがなんだか、変なのである」「バカの壁」を超える方法、考え方は自分の頭で生み出す。そのためのヒントが詰まった、養老孟司の新潮新書第三弾。

## 三田さんの謎

著者名：三田佳子  
出版者：幻冬舎

71歳、山あり谷あり、若さと元気の秘訣「今を生ききる」。

## 爆笑問題の忠臣蔵

著者名：爆笑問題  
出版者：幻冬舎

時代を超えてたえず映像化や翻案され続ける「忠臣蔵」。物語の面白さと醍醐味、そのすべてが盛り込まれているとされるその秘密に爆笑問題・太田光が挑む全17話。

## あの人がいた

著者名：矢崎泰久  
出版者：街から舎

あの伝説的雑誌『話の特集』元編集長矢崎泰久さんが、仕事と遊びを通しとことん交友を深めた今なお異彩を放つ十六人の文人達の知られざる素顔や歩みを惜別をこめ鮮やかな筆力で蘇らせた痛快無比の人物エッセイ集。